

◆企画名	新しい本と出会おう！2023年度 Reading Party ～クリスマス直前回～
日程	2023年12月8日（金）13：00～14：30
場所	千里山キャンパス凜風館1階ピアエリア
参加者数	8名（ピア・サポータ1名、研修生2名、一般学生5名）

目的

KU コアラのメンバーが選んだ本を紹介することで本との新たな出会いの機会をつくとともに、紹介された本に関する意見交換することで学生同士の繋がりをつくることを目的とする。

内容

【概要】

本企画は、KU コアラメンバーが選定した本を参加者全員で読み、その感想を述べあうという企画である。お菓子を準備することで、参加者がリラックスしてイベントを楽しめるようにするほか、実施時期が12月であるため、クリスマスパーティーのような雰囲気を楽しんでもらえるようにした。扱うお話は『ラプンツェル』（グリム著）である。同じ本でも訳の違いがあることなどのおもしろさを感じてもらった。

【本】

『ラプンツェル』の訳を2種類紹介した。

- ・グリム 中島孤島訳 ラプンツェル (aozora.gr.jp)
- ・グリム Grimm 矢崎源九郎訳 ラプンツェル (aozora.gr.jp)

【スケジュール】

- ・KU コアラの紹介
- ・自己紹介（名前、学部、好きな本のジャンルなど）
- ・読み比べ1（中島孤島訳）
- ・読み比べ2（矢崎源九郎訳）
- ・感想共有
- ・参加者アンケート、写真撮影



効果

- ・新しい本との出会いの機会をつくることができたか。

今回は童話を扱ったので、普段読むことが少ないジャンルに挑戦することができたと考える。『ラプンツェル』の原作や映画に企画以前に触れたことのある参加者がほとんどいなかった。そのうえで「この企画によって新しい本のジャンルに挑戦してみようと思いましたか？」の質問に対し、8割の一般学生が「思った」に投票していた。このことから、この項目については達成できたといえる。

- ・本企画を実施することにより、学生同士の新たな繋がりをつくることができたか。

感想共有の時間に、本企画で初めて顔を合わせた一般学生同士が積極的にコミュニケーションをとることができていた。どの学生も自分の考えを表現することができていたことから、初対面の学生同士でも話しやすい雰囲気をつくることができたと考えられる。

改善点

配付資料について

- ・書類や配布資料を担当者に一任し、他人事とするのではなく、企画前に全員で内容を確認する機会を設ける必要がある。
- ・当日の昼休みに配布資料の準備・印刷をしたため、バタバタしてしまった。企画当日よりも前に準備をしておくべきだった。

アンケートについて

- ・アンケートの評価項目に「学生同士の繋がりをつくることができたか」を把握できるような項目を追加する
- ・参加者アンケートの「総合的に見て、この企画にどの程度満足していただけましたか？」の評価（1～5）に関して、1を「非常に満足」、5を「満足でない」とした。しかしながら、これでは直感に反しており、パッと見て入力しづらいのではないかと意見が出たため、次回以降は評価の数字を変更する必要がある。

感想

- ・参加者アンケートの KU コアラの認知度が 100%であったことから、以前よりも一般学生の身近な存在になれていると感じられた。
- ・私たちの代では初めて実施する企画だったので、上手く運営できるのかが当日まで不安だったが、やりきることができて良かった。

